

第2回定例会が開催されるに当たりまして、第1回定例会以降における行政執行の主なものについて、その概要を報告いたします。

新型コロナウイルス感染症対策について

はじめに、新型コロナウイルス感染症対策について申し上げます。
これまでの主な取組について個別に申し上げます。

【新型コロナウイルスワクチン接種について】

まず、新型コロナウイルスワクチン接種についてであります。昨年10月より実施して参りました「令和4年秋開始接種」は、本年5月7日をもって終了致しましたが、特例臨時接種の1年間延長に伴い、本年5月8日から8月末を目途に、「令和5年春開始接種」として65歳以上の方や基礎疾患を有する方、医療従事者等を対象として追加接種を開始し、集団接種会場での接種を含め、順次進めています。

また、小児接種や乳幼児接種についても、それぞれ接種期間が延長され、希望する接種対象者へのワクチン接種を引き続き実施しているところであり、今後も国の方針に基づき適切に対応して参ります。

【新型コロナウイルス感染症及び物価高騰の影響に係る経済対策について】

次に、新型コロナウイルス感染症及び物価高騰の影響に係る経済対策についてであります。

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症に加え原材料等の価格高騰の影響により落ち込んだ市内経済の循環・回復を目的として、「えにわワクワク商品券」事業を実施いたしました。

配布した商品券のうち98.54パーセント、金額にして約3億9,103万円分が使用され、市内経済の活性化に一定の効果があったものと認識しております。

令和5年度は、光熱費が上昇している状況を踏まえ、上昇分相当額のオリジナル商品券を配布する事業の実施を検討して参ります。

以上が本市における新型コロナウイルス感染症の主なものとなりますが、5月8日に新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが2類相当から5類へ引き下げられたことに伴い、本市においては、5月7日をもって「新型コロナウイルス感染症対策本部」を廃止し、国や北海道に準じた支援体制へ移行したところであります。

5類移行後の基本的な感染対策は個人や事業者の判断が基本となりますが、新型コロナウイルス感染症は今後も一定の流行が続くものと予想されていることから、本市といたしましても、逐次迅速かつ適切に対応できるよう関係機関とも連携しながら必要な体制を維持して参ります。

医療関係者などの関係機関の方々や市民の皆様においては、引き続き、新型コロナウイルス感染症対策へのご理解とご協力をお願いいたします。

令和4年度ふるさと納税寄附について

次に、令和4年度ふるさと納税寄附について申し上げます。

令和4年度のふるさと納税推進事業では、返礼品のビール発送日の短縮や民間ポータルサイトを増やすとともに、返礼品提供事業者の新規登録や返礼品の拡充に努め、前年度の寄附額の約1.4倍にあたる24億8,700万円の寄附が全国より寄せられたところであります。

また、企業版ふるさと納税では、7件、960万円の寄附を受けたほか、本年2月28日に第一生命保険株式会社と人材派遣型の企業版ふるさと納税を活用した協定を締結し、4月1日より多文化共生事業に職員1名が従事しているところであります。

今後におきましても、ふるさと納税及び企業版ふるさと納税寄附の更なる拡大に努めて参ります。

グアテマラ共和国への中古スポーツ

次に、グアテマラ共和国への中古スポーツ用品の寄附について申し上げます。

用品の寄附について

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のホストタウンとして交流したつながりから、グアテマラで陸上競技に励む子どもたちを応援するため、恵庭市スポーツ協会にご協力いただき、市民から提供のあったスポーツシューズやスポーツウェア等の中古スポーツ用品165点を、3月4日に寄附いたしました。

また、同日にはグアテマラのオリンピック出場選手と市内スポーツ少年団等とのオンライン交流会を行ったほか、3月16日には山元在グアテマラ特命全権大使が本市を来訪されるなど、ホストタウンとしての受け入れ後も、グアテマラとの交流を深めたところであります。

地域創造研究センターの設立について

次に、地域創造研究センターの設立について申し上げます。

本年4月1日に、北海道文教大学に「地域創造研究センター」が設立されました。本センターでは、地域の課題解決に向けた政策研究を展開し、地域の活性化に寄与するとともに、先駆的な地域政策を地方から提起していくことを目的としており、本市からも職員を派遣しているところであります。

令和5年度全国高等学校総合体育大会空手道競技大会の準備経過について

次に、令和5年度全国高等学校総合体育大会空手道競技大会の準備経過について申し上げます。

本市では現在、本年7月26日から29日までを期間として開催する本大会に向けて、市内各所での大会ポスターの掲示や市公式ホームページ内に「応援ページ」を開設するなど周知活動を行っているところであります。

また、本年3月31日まで募集を行ってございましたクラウドファンディングには、全国より86の団体・個人から総額319万5,000円のご寄付をいただくとともに、4月から募集をしております企業協賛については、33の市内企業及び空手道関係団体よりご協賛をいただいて

おります。

本大会が選手や関係する皆様の「記憶に残る」有意義な大会となるとともに、市民の理解と協力の下「おもてなしの心」でお迎えし、多くの方々の心に残る大会となるよう、引き続き準備を進めて参ります。

農業振興について

次に農業振興について申し上げます。

農作業については、雪解けも早く、好天に恵まれたこともあり、順調に進んでおります。

酪農については、5月22日、5月24日の2日間で市営牧場に市内外13戸の酪農家から197頭の入牧を終え、10月中旬まで放牧を行い乳牛の増体を図って参ります。

また、基盤整備については、漁川右岸地区において、国営事業化に向けた地区調査が実施されております。

観光入込客数の推移について

次に、観光入込客数について申し上げます。

市内の観光施設や各種イベントなどの観光入込客数は、令和3年度145万人に対し、令和4年度は39パーセント増の201万人で、対前年比で56万人ほど増加しております。

増加の要因は、令和4年度の「ガーデンフェスタ北海道2022」の開催であると推測されますが、本年度のゴールデンウィークの9日間における「道と川の駅」にも約6万人が来場しており、「はなふる」が恵庭市の観光拠点として浸透してきたのではないかと考えており、引き続き市内の観光振興に取り組んで参ります。

市営住宅の整備について

次に、市営住宅の整備について申し上げます。

市営住宅柏陽団地の老朽化に伴う入居者の移転先として、令和3年度から整備を進めてきました恵央団地6号棟の建築工事が3月20日に

消防車両等の更新
整備について

完成いたしました。

現在、駐車場等の外構工事を進めているところであり、入居開始については8月中旬を予定しております。

最後に、消防車両等の整備について申し上げます。

高規格救急自動車は、救急需要の増加から使用頻度が高く、劣化が著しい状態でありましたが、感染症防止対策を強化した新規車両を整備し、本年3月から運用しております。

また、島松・南両出張所の老朽化が進んだ消防広報車を、緊急消防援助隊に登録する人員輸送が可能な支援車及び環境に配慮しハイブリッドエンジンを搭載した一般車両に更新いたしました。今後におきましても消防救急体制の充実を図り、市民の安全・安心の確保に努めて参ります。

以上、第1回定例会以降における行政執行の主なものについて、その概要を報告いたしました。

なお、本議会に提案している議案等については、それぞれ上程の都度説明させていただきますので、よろしくご審議をいただき、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。